
Anti- CD252/OX40L (TAG34) Mouse IgG MoAb

Code No. : RMCD252S401

1mg

はじめに : CD252/OX40L は HTLV-1 感染 T 細胞に発現する gp34 と同一分子で、TNF スーパーファミリーに属する 3 量体として、活性化 B 細胞や樹状細胞、血管内皮細胞に発現します。活性化 T 細胞上に発現する OX40 を介して、T 細胞の増殖 およびサイトカイン産生の増強に働く他、活性化された血管内皮細胞上に発現する OX40L は活性化 T 細胞の炎症部位への浸潤に関与しています。

免疫抗原 : HTLV-1 持続感染細胞株 (MT-2) の lysate

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(SP2/0 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : TAG34

サブクラス : IgG₁

由来 : マウス腹水

精製方法 : プロテイン G 精製

包装形態 : 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS に溶解

保存方法 : -20°C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 2~8°C 保存 2 年間安定

使用目的 : ウェスタン・ブロッティング 10 µg/mL にて使用可能
免疫沈降法 10 µg/test にて使用可能
フローサイトメトリー 1 µg (1×10⁵ Cells あたり)にて使用可能
ブロッキング 20 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Takahashi Y, Tanaka Y, Yamashita A, Koyanagi Y, Nakamura M, Yamamoto N. OX40 stimulation by gp34/OX40 ligand enhances productive human immunodeficiency virus type 1 infection. J Virol. 2001 Aug;75(15):6748-57.